

函館工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	スポーツ科学Ⅴ	
科目基礎情報							
科目番号	0320		科目区分		一般 / 必修		
授業形態	授業		単位の種別と単位数		履修単位: 1		
開設学科	物質環境工学科		対象学年		5		
開設期	前期		週時間数		2		
教科書/教材							
担当教員	浦田 清,水野 勝敏						
到達目標							
各種スポーツの基本的な技術を習得し、動きとして実技の中で実践することができる。また、毎時間授業に出席して、集団の一員としての役割と責任を自覚し、個人や集団の安全に注意しながら練習や試合に集中することができることに到達レベルである。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1		標準的な到達レベルの目安に加えて、それぞれの実技試験（30点満点）において、1/3以上の点数を取る		授業へ遅刻、欠席、見学することなく安全に注意し集中して熱心に授業に取り組む。		遅刻、欠席、見学が比較的多く、授業に集中しない又は熱心に取り組まない。	
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育到達目標 (A-2) 函館高専教育目標 A							
教育方法等							
概要		スポーツを楽しむことができるように、それぞれの種目における基本的な技術を習得し、それをゲームに応用できるようにする。 毎時間授業に出席して、集中力をもって積極的に授業に取り組む姿勢が大切である。					
授業の進め方・方法		出欠・見学・授業態度（A-2）（70%）、実技試験（A-2）（30%）で定期試験時に評価する。70%のうち1時限あたりの欠席は5点、見学は3点を減点する。また、次に該当するような授業態度（熱心に取り組まない、指示に従わない、授業におけるルールを守らない、他人に迷惑を掛ける、集団行動を乱す等）も程度によって減点とする。 各定期試験時の評価は均等とする。					
注意点		・健康管理に配慮して、スポーツ実技・試験に参加すること。 ・安全に注意し、集中力を発揮して積極的に授業に取り組むこと。 JABEE教育到達目標評価 実技試験30%（A-2）、出欠・見学・授業態度70%（A-2）					
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	ガイダンス スポーツテスト（屋内）		ガイダンス スポーツテスト（屋内）		
		2週	ソフトボール		大きなフォームで遠投ができる 打球を捕球し素早く送球することができる 投げられたボールを力強く遠くへ打つことができる ゲームができる		
		3週	ソフトボール		大きなフォームで遠投ができる 打球を捕球し素早く送球することができる 投げられたボールを力強く遠くへ打つことができる ゲームができる		
		4週	ソフトボール		大きなフォームで遠投ができる 打球を捕球し素早く送球することができる 投げられたボールを力強く遠くへ打つことができる ゲームができる		
		5週	ソフトボール		大きなフォームで遠投ができる 打球を捕球し素早く送球することができる 投げられたボールを力強く遠くへ打つことができる ゲームができる		
		6週	ソフトボール		大きなフォームで遠投ができる 打球を捕球し素早く送球することができる 投げられたボールを力強く遠くへ打つことができる ゲームができる		
		7週	ソフトボール		実技試験		
		8週	前期中間試験		実技試験		
	2ndQ	9週	スポーツテスト（屋外）		自己の体力水準を把握する		
		10週	卓球 バレーボール		サーブができる バックハンドでカット及びドライブ系の打ち方ができる さまざまなショットを用いてシングルス及びダブルスのゲームができる スパイクが打てる 正確なレシーブができる サーブが打てる 3段攻撃を用いてゲームができる		
		11週	卓球 バレーボール		サーブができる バックハンドでカット及びドライブ系の打ち方ができる さまざまなショットを用いてシングルス及びダブルスのゲームができる スパイクが打てる 正確なレシーブができる サーブが打てる 3段攻撃を用いてゲームができる		

		12週	卓球 バレーボール	サーブができる バックハンドでカット及びドライブ系の打ち方ができる さまざまなショットを用いてシングルス及びダブルスのゲームができる スパイクが打てる 正確なレシーブができる サーブが打てる 3段攻撃を用いてゲームができる
		13週	卓球 バレーボール	サーブができる バックハンドでカット及びドライブ系の打ち方ができる さまざまなショットを用いてシングルス及びダブルスのゲームができる スパイクが打てる 正確なレシーブができる サーブが打てる 3段攻撃を用いてゲームができる
		14週	卓球 バレーボール	サーブができる バックハンドでカット及びドライブ系の打ち方ができる さまざまなショットを用いてシングルス及びダブルスのゲームができる スパイクが打てる 正確なレシーブができる サーブが打てる 3段攻撃を用いてゲームができる
		15週	前期期末試験	実技試験
		16週	卓球 バレーボール	実技試験

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
----	----	------	-----------	-------	-----

評価割合

	試験	発表	相互評価	出欠・見学・態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	30	0	0	70	0	0	100
基礎的能力	30	0	0	70	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0